

仿僧川・今ノ浦川水災害対策プラン(スケジュール管理表)

- 各施策の計画期間
- 各施策の実施期間(実績)
- 完了した施策(継続的な施策を含む)

資料1

項目	水P 本文の 番号	施策名	担当機関	具体的な対策・進め方	具体的な目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	◎ 完了 ○ 計画通りの進捗 △ 計画より遅れている □ 継続実施	進捗率「ー」:継続実施施策			
																	進捗状況、問題点・課題、代替案・解決策			
																	令和7年度末時点の進捗状況		問題点・課題	代替案・解決策
																	具体的な内容	進捗率		
1 氾濫をできるだけ防ぐための対策	①-1	河道整備	袋井土木事務所	・河川整備計画に基づき河道拡幅や堤防嵩上げといった河川整備を実施する。	・太田川河川改修 ※整備計画断面まで	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・太田川橋下流で河道掘削 V=10,000m3を実施	70%	・受け入れ可能な残土処分場が限られ、処分費が高騰	・堆積状況を確認し河道拡幅を実施 ・建設発生土の積極的な有効活用
					・仿僧川 9.5k～11.5k ※中田工区	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・仿僧川 中田工区護岸工 L=61mを実施	75% (150m/200m)	—	・令和8年度完了見込み
					・倉西川 0.0k～2.3k ※堤防高嵩上げ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・未着手	0% (0m/2300m)	—	・国の令和7年度補正予算(国土強靱化対策)を確保できたことから、令和8年度は、整備区間の護岸詳細設計と護岸工に着手する。
					・古川 1.5k～2.3k ※堤防嵩上げ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	△	・古川 1.55k-1.63k 嵩上工 L=80mを実施	25% (200m/800m)	・令和6年度以降の予算配分実績を考慮すると、計画通りの整備進捗が困難。	・令和8年度は、嵩上工 L=35mを実施し、上流に向けて整備していく
					・今ノ浦川 3.4k～5.0k ※河床掘削	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・未着手	0% (0m/1600km)	—	—
	①-2	堤防整備・強化対策	磐田市 道路河川課	・堤防嵩上、漏水対策、護岸整備より堤防整備および強化対策を実施する。	・加茂川の該当箇所を対象に実施 ※浄沢橋から大之浦橋上流(L=117m)を現況より70cm嵩上げ	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	◎	・堤防70cm嵩上げ(L=117m)	100%	・対策箇所の抽出	・堤防の嵩上げを実施し、治水安全度を向上
	①-3	遊水地・調整池の整備	中遠農林事務所	・雨水を一時的に貯留し、流出を抑制する遊水地・調整池の整備を実施する。	・柴田山調整池の整備	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	◎	・調整池の整備(完成)	100%	・完成後の適切な維持管理	
			磐田市 道路河川課		・水堀川遊水地の整備	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・概略設計の実施	20%	・財源の確保(緊急自然災害防止事業債の令和7年度以降の継続)	・調整池等の詳細設計、用地測量、用地取得の実施
			磐田市 道路河川課		・上野公園調整池の整備	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・概略設計の実施	20%	・財源の確保(緊急自然災害防止事業債の令和7年度以降の継続)	・調整池等の詳細設計、用地測量、用地取得の実施
	①-4	事前放流等による調整容量の確保 排水機場の予備排水	磐田市 農林水産課	・貯留施設の調整容量を確保するため、大池の浚渫を行う。	・大池の調整容量確保を実施(浚渫)	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	—	0%	・浚渫方法の検討	—
	①-5	湛水防除事業により整備した農業用調整池の有効活用	磐田市 農林水産課	・湛水防除事業の洪水調整効果を評価し、効果が最大限になる施設操作・ルールを見直す。	・施設操作ルール見直し 安久路調整池・柴田山調整池・向陽調整池・大池	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・見直し項目の検討	40%	・河川協議 ・調整池の運用基準の見直し	・袋井土木、中遠農林、磐田市農林水産課で調整池に関する運用基準の見直しを検討していく。
	①-6	排水対策のための農業水利施設の更新・長寿命化(施設の更新・長寿命化)	中遠農林事務所	・農業用排水施設の更新・長寿命化を行う。	農業用排水施設の更新整備	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・農業用排水施設の更新整備 ・浜部排水機場1号ポンプ設置、2号ポンプ製作	40%	・計画的な更新整備 ・事業費の増大	・国費の確保と予算の平準化
			磐田市 農林水産課		・浜部排水機場 ・中瀬排水機場 排水機場の遠隔化	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・農業用排水施設の更新整備 ・中瀬排水機場除塵機製作	40%	・計画的な更新整備 ・事業費の増大	・国費の確保と予算の平準化
					・浜部排水機場 ・中瀬排水機場 ・浜新田排水機場 排水機場の遠隔化(浜部・中瀬・浜新田排水機場)	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・排水機場の遠隔化(浜部・中瀬・浜新田排水機場)	40%	・計画的な更新整備 ・事業費の増大	・国費の確保と予算の平準化
	①-7	雨水の貯留機能拡大(水田貯留)	中遠農林事務所 磐田市 農林水産課	・水田に降った雨を一時的に貯留するために、排水柵を改良する。	・水田営農者と協議し、調整柵導入を検討する。	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	・多面的機能支払事業実施組織へ説明 ・福田地区で田んぼダムを設置	20%	・農業者の理解	・「田んぼダム」の理解促進、機運醸成 ・「田んぼダム」用の角落し・調整板等の支給
	①-8	森林保全	中遠農林事務所 磐田市 農林水産課	・森林の整備・保全により、水源涵養、土壤保全機能の向上、山地災害の防止を図り、雨水や土砂の流出を抑制する。	・森林整備等の実施を検討する	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	○	—	—	・磐田原台地西側斜面地における森林整備の検討	—
	①-9	急傾斜地対策の実施	袋井土木事務所 磐田市 道路河川課	・土砂災害を抑制するため、急傾斜地対策もたれ式擁壁整備を実施する。	・土砂災害抑制の対策整備の実施 大久保・豊田南(気賀東)地区を 対象に実施	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	◎	・豊田南地区擁壁整備完了	100%	—	—
	①-10	歩道舗装(透水性舗装)	磐田市 道路河川課	・雨水を浸透させることが出来る透水性舗装を導入することで、河川等への流出抑制を図る。	・透水性舗装の導入	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	●●	□	・歩道の透水性舗装の継続実施	—	—	—

仿僧川・今ノ浦川水災害対策プラン(スケジュール管理表)

●● 各施策の実施期間
 ■ 完了した施策(継続的な施策を含む)

進捗率「-」:継続実施施策

項目	水P 本文の 番号	施策名	担当機関	具体的な対策・進め方	具体的な目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	◎:完了 ○:計画通り の進捗 △:計画より 遅れている □:継続実施	進捗状況、問題点・課題、代替案・解決策			
																	令和7年度末時点の進捗状況		問題点・課題	代替案・解決策
																	具体的な内容	進捗率		
1 氾濫をできるだけ防ぐための対策	①-11	都市計画法開発許可に伴う調整池設置の指導	磐田市 都市計画課	・都市開発に伴う流出量の増加に対応するための調整池の設置の指導を行う。	・都市開発に伴う調整池の設置指導	</														

傍僧川・今ノ浦川水災害対策プラン(スケジュール管理表)

●—● 各施策の実施期間
 ■ 完了した施策(継続的な施策を含む)

進捗率「一」：継続実施施策

項目	水P 本文の 番号	施策名	担当機関	具体的な対策・進め方	具体的な目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	◎：完了 ○：計画通り の進捗 △：計画より 遅れている □：継続実施	進捗状況、問題点・課題、代替案・解決策					
																	令和7年度末時点の進捗状況		問題点・課題	代替案・解決策		
																	具体的な内容	進捗率				
2 被害対象を減少させるための対策	②-1	立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める 防災指針の作成・公表	磐田市 都市計画課	・災害に強い都市づくりの基本方針となる都市計画マスタープランの改定を進める ・防災指針を含め、立地適正化計画の改定を進める	・防災指針の作成 都市計画マスタープランの改定、防災指針の改定											○	・立地適正化計画に防災指針を定める (防災指針の作成：令和7年4月公表) ・都市計画マスタープランの改定 ・防災指針を含む立地適正化計画の改定	33%	—	・令和7～9年度で都市計画マスタープランの改定を実施 ・同期間に防災指針を含む立地適正化計画の改定を実施		
	②-2	都市計画法開発許可に伴う土地利用の適正指導	磐田市 都市計画課	・水害ハザードエリアにおいて、開発許可の申請があった場合は、被害を抑えるために、土地利用の適正な指導を行う。	・開発許可申請に伴う、土地利用指導		継続実施										□	・継続実施	—	—	—	
	②-3	土地区画整理事業に伴う宅地嵩上	磐田市 都市整備課	・床下、床上浸水被害を軽減するため、宅地嵩上を推進する。	・宅地嵩上の推進													□	・継続実施	—	—	—
	②-4	高台づくり、避難スペースを確保した建築物の整備・確保	磐田市 危機管理課	・災害時の人的被害を解消するため、津波避難タワーの多目的利用や、緊急避難施設(ビル・事務所)協定締結を推進する。	・高台・緊急避難施設の協定締結推進													□	・継続実施	—	・避難場所への避難が遅れた場合の垂直避難の徹底	—
	②-5	より水災害リスクの低い地域へ居住や都市機能の誘導	磐田市 都市計画課	・水害ハザードエリアにおける被害対象を減少させるため、災害リスクの低い地域へ住居・都市機能を誘導する。	・災害リスクの低い地域への住居・都市機能の誘導													□	・継続実施	—	—	—
	②-6-1	住民避難、浸水対策を講じるにあたり有用である水災害リスク情報、多段的な浸水ハザード情報の作成周知	磐田市 危機管理課	・想定最大、中高頻度の外力による浸水想定リスク情報や、多段的なハザード情報を作成し周知する。	・多段的なハザード情報の作成、周知													□	・中小河川の浸水想定をデジタルハザードマップ(磐田市ホームページの地図情報システム内)に掲載 ・防災講座の実施	—	—	—
	②-6-2	災害リスクの低い地域への住居や都市機能の誘導	磐田市 都市計画課	災害リスクの低い地域へ住居・都市機能を誘導する。	・住居・都市機能の誘導													□	・継続実施	—	—	—
②-7	道路冠水への対応	磐田市 道路河川課	・アンダーパス前後にエアークロス機等の滞水時緊急規制装置を設置し道路利用者の安全を確保する。	・エアークロス機の設置 前野地区													◎	・前野アンダーパス前後にエアークロス機を設置	100%	—	—	
			・道路冠水状況を把握するため、冠水検知装置を設置する。	・冠水検知装置設置 西貝地区													◎	・磐田山梨線に冠水検知装置を設置	100%	—	—	

仿僧川・今ノ浦川水災害対策プラン(スケジュール管理表)

●● 各施策の実施期間
 ■ 完了した施策(継続的な施策を含む)

進捗率「-」:継続実施施策																				
項目	水P 本文の 番号	施策名	担当機関	具体的な対策・進め方	具体的な目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	◎:完了 ○:計画通り の進捗 △:計画より 遅れている □:継続実施	進捗状況、問題点・課題、代替案・解決策			
																	令和7年度末時点の進捗状況		問題点・課題	代替案・解決策
																	具体的な内容	進捗率		
3 被害の軽減、 早期復旧・復興の ための対策	③-1	想定最大規模の内水浸水想定区域図の作成・公表	磐田市 危機管理課	・想定し得る最大規模の外力に対する内水浸水リスクを表示するため、内水浸水想定区域図の作成・公表を行う。	・雨水出水浸水想定区域図の作成・公表 ※想定最大規模の外力に対する内水浸水想定区域図のこと											◎	・内水浸水想定区域図の作成、公表済み	100%	・洪水ハザードマップとの兼ね合いで、公表時の表現の仕方の検討が必要	・内水浸水想定区域図作成後に内水ハザードマップを作成予定
	③-2	宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明	磐田市 危機管理課	・土地等の購入にあつての水災害リスク情報の提供のため、宅地建物取引業団体への説明を行う。	・宅地建物取引業者への説明											□	・継続実施	-	-	-
	③-3	洪水ハザードマップの作成・公表・利活用	磐田市 危機管理課	・水災害リスク情報空白地帯を解消するため、公表済みの浸水区域図に基づき洪水ハザードマップの作成・公表・利活用を行う。	・洪水ハザードマップの作成・公表・利活用											○	・継続実施 ・ハザードマップの改善・拡充 ・マイ・タイムライン「わたしの避難計画」等の啓発を継続的に実施	-	・洪水ハザードマップ作成・公表済のため、周知や利活用を重視	-
	③-4	内水ハザードマップの作成・公表・利活用	磐田市 危機管理課	・水災害リスク情報空白地帯を解消するため、内水ハザードマップの作成・公表・利活用を行う。	・内水ハザードマップの作成・公表・利活用											○	-	0%	-	-
	③-5	雨水管理総合計画の作成・利活用	磐田市 道路河川課	・当面・中期・長期にわたる下水道の浸水対策の目標、施設整備の方針を定める雨水管理総合計画を作成し、計画的に対策を進める。	・雨水管理総合計画策定											○	-	0%	・内水ハザードマップと雨水管理総合計画の必要性を再検討	-
	③-6	民間施設を避難所として活用する	磐田市 危機管理課	・民間施設との協定等により、洪水時等の避難場所の確保を進める。	・避難場所の確保											○	・継続実施 ・民間の施設や敷地を避難場所として協定により確保(8社、1組合)	-	-	・民間等に対し継続的に協力依頼を実施
	③-7	県総合防災アプリ「静岡県防災」の避難トレーニング等の活用による災害体験などによる防災意識の高揚	西部地域局	・県防災アプリ「静岡県防災」の活用。	・静岡県防災の活用											□	・地域防災訓練等の防災イベントにおけるアプリ活用 ・市町が実施する講習会等での実施	-	・防災アプリの普及・啓発方法及び活用方法の検討等	-
				・地震防災センター、地域局、市町による防災出前講座の実施。	・出前講座の実施											□	・学校からの要請により防災講座を実施	-	-	-
	③-8	関係部局と連携した出前講座の周知 市町教育委員会、学校担当者に対する研修会での周知	磐田市 危機管理課	・水災害リスク情報等の周知のため、出前講座や研修会を実施する。	・出前講座の実施											□	・継続実施	-	・自治会活動や防災訓練に参加しない層への防災啓発	・防災講座だけでなく、シンポジウムや講演会等の開催により、新たな切り口での啓発活動を検討
	③-9	土砂災害・全国防災訓練防止講習会、出前講座	磐田市 危機管理課	・土砂災害リスク情報の周知のため、講習会や防災訓練を実施する。	・講習会、出前講座の実施											□	・継続実施	-	・自治会活動や防災訓練に参加しない層への防災啓発	・防災講座だけでなく、シンポジウムや講演会等の開催により、新たな切り口での啓発活動を検討
③-10	ハザードマップ内の社会福祉施設等に対する避難確保計画の策定などの取組に対する支援	磐田市 危機管理課	・人的被害を軽減するため、社会福祉施設に対する避難確保計画の策定を支援する。	・社会福祉施設の避難確保計画の策定支援											□	・継続実施	-	-	-	

仿僧川・今ノ浦川水災害対策プラン(スケジュール管理表)

●● 各施策の実施期間
 ■ 完了した施策(継続的な施策を含む)

項目	水P 本文の 番号	施策名	担当機関	具体的な対策・進め方	具体的な目標	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和 10年度	令和 11年度	令和 12年度	令和 13年度	令和 14年度	令和 15年度	◎:完了 ○:計画通り の進捗 △:計画より 遅れている □:継続実施	進捗率「-」:継続実施施策			
																	進捗状況、問題点・課題、代替案・解決策			
																	令和7年度末時点の進捗状況		問題点・課題	代替案・解決策
																	具体的な内容	進捗率		
3 被害の軽減、 早期復旧・復興のための対策	③-11	マイ・タイムラインの推進	磐田市 危機管理課	・住民一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて「いつ」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した「マイ・タイムライン」の作成を推進する。	・マイ・タイムラインの作成推進	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-12	「わたしの避難計画」の作成・普及	磐田市 危機管理課	・今後起こりうる大規模災害に備えて、一人ひとりが「いつ」「どこ」に避難するかを事前に整理する「わたしの避難計画」の作成・普及を推進する。	・わたしの避難計画の作成・普及	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-13	要配慮者施設の避難確保計画の作成支援	磐田市健康増進課 高齢者支援課 福祉相談課 子ども若者家庭課 幼稚園保育園課 学校教育課 放課後活動課 危機管理課	・要配慮者の人的被害を軽減するため、避難確保計画の作成を支援する。	・要配慮者施設の避難確保計画作成支援	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-14	被災後の早期復旧・復興を図るための洪水浸水区域の土地情報の整備(地籍調査事業)	磐田市 農林水産課	・洪水浸水浸水区域の土地利用情報の正確な把握のため、地籍調査事業を実施する。	・見付地区の一部を対象に地籍調査事業を実施	●	●									□	・継続実施 ・見付地区の一部で実施(0.07km ²)	-	・国庫補助の確保	-
	③-15	橋梁の耐震補強等による流失対策	袋井土木事務所 磐田市 道路河川課	・水災害時に橋梁の流出につながらないよう耐震補強等を実施。	・橋梁の耐震補強の実施	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-16	橋梁点検に基づく維持管理	袋井土木事務所 磐田市 道路河川課	・橋梁点検などの維持管理を継続的にを行い、災害時の施設の損傷を防止する。	・橋梁点検の実施	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-17	氾濫水を早期に排水するための対策	磐田市 道路河川課	・排水ポンプ車の借り受け等、浜松河川国道事務所と連携し氾濫水を早期に排水する。	・排水ポンプ車の借り付け等早期排水のための体制確保	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-18	国による被災自治体の災害応急対策への支援の活用	磐田市 危機管理課	・関係者と連携し一体となり災害応急対策支援を活用する。	・災害対応支援の活用	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-19	ハード整備効果の積極的な情報発信	袋井土木事務所 磐田市 道路河川課	・シミュレーション結果などを活用し、ハード整備の効果を積極的に県・市ホームページで公表する。	・ハード整備のホームページへの公表		●	●								□	・整備状況等を適宜ホームページにより周知を図っている	-	・ハード整備効果に絞らず、施策の取り組みの進捗状況を公表したらどうか	-
	③-20	浸水センサ・カメラの設置	磐田市 危機管理課	・浸水センサ10箇所を設置し、出水時の水位監視を行う。	・浸水センサ18箇所、カメラ2箇所の設置	●	●									◎	・令和5年度より継続して、浸水センサ等を設置 ・令和5年度に浸水センサ10箇所、カメラ2箇所設置済	100%	・浸水センサデータの活用	・プッシュ通知機能の検討
	③-21	水防訓練、水災害避難訓練の実施 マイ・タイムラインの検証	磐田市 危機管理課	・実効性のある水防演習、土砂災害訓練、出前講座を実施し、マイ・タイムラインの検証を行う。	・マイ・タイムラインの検証実施	●	●									□	・継続実施	-	-	-
	③-22	サイボスレーダーの周知・活用	袋井土木事務所	・静岡県土木総合防災情報(サイボスレーダー)を周知し、活用する。	・サイボスレーダーの周知・活用	●	●									□	・出前講座等の機会に周知を実施	-	-	-